

○「地域の農業法人に研修会を開く」

(京都府京丹後市 久美浜地域会議)(平成30年度第7回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

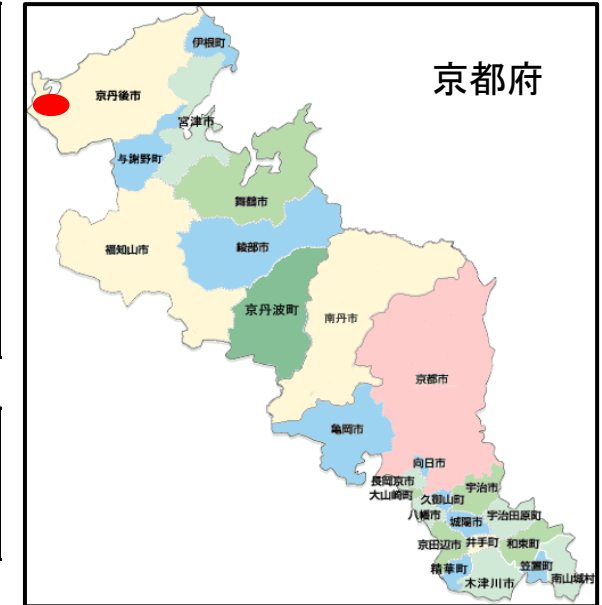
- 日時(時期): 平成31年2月8日(金) 14:00~16:30
- 場 所: 京丹後市久美浜町農業センター
- 出席者: 農業法人10人、
委員、推進委員 12人
振興局 2人、農業会議 2人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 旧村8地区からなる広大な地域で、三つの河川と山間部、平地、砂丘地、国営農地などにより、多様な農業が実施されている
- 山間部については、遊休農地が見られるが、農業法人11社が担い手の中心となっている

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- ネットワーク久美浜研修会を開催。地域の農業法人に情報提供と意見交換を行う
- 研修は、京都府農業会議の岡田課長と加茂課長から農地保全や各種支援策情報を提供
- 意見交換では、3地区3法人で1.5haの農地交換による集約を実施していること。共同文書で賃借料見直しのための賃借料軽減要請を実施したことが法人から出された。
また、農地集積を50ha中間管理事業で行ったことが賃借料の統一の了解を得ることになったこと、農業法人が地域と話し合うことの必要性、地域の協力、離農者の農地の受入など多くの意見が出た。
- 地域会議で委員さんが3年間積み重ねた成果を今回感じた。



4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援